

## 事業の概要

### 1. 法人の事業概要

#### (1) 社会的責任を果たす経営体制の強化

##### 理事会・常任理事会について

法人の理事には、学長、校長、学部長及び外部の有識者が就任し、透明性の高い理事会体制になっています。常任理事5名で構成される常任理事会を年間38回(原則として毎週1回)開催し、学校運営に必要な事項に迅速に対応しました。

##### 監査体制について

監事は、理事会・評議員会に出席すると共に、学長、校長との面談を通して業務監査を実施し、公認会計士から会計監査の状況について説明を受けることに加えて、内部監査人(副学長2名)の監査を実施しました。平成24年度は監事、常任理事及び公認会計士が一同に会し、常任理事会の開催状況や事業計画進捗状況等、学園の運営状況に関する報告を実施し、監査内容の充実に努めました。

##### 規程の整備

平成18年4月1日から施行された公益通報者保護法にしたがって、「学校法人阪南大学公益通報等に関する規程」を制定し、平成24年4月1日から施行しました。

また、本学園の社会的説明責任を果たすことを目的に「学校法人阪南大学情報公表規程」を制定し、平成24年4月1日から施行しました。

「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律」改正に伴う厚労省の指針によりセクシュアルハラスメント行為者への厳正な対処方針の規定化を受けて、「学校法人阪南大学セクシュアルハラスメント等防止規程」を改正し、平成24年4月1日から施行しました。

#### (2) 健全な財政基盤の堅持

将来にわたって安定的に教育・研究事業を継続し、充実に図っていくために、さらに災害等のリスクへの対応力を高めるためにも余力のある健全な財政基盤の確立は必須の要件です。本学園の経営の基本方針である「借入りに依存しない健全経営」、「将来に備えての現保有資産(現預金)を確保」に従い、今期も学園の総事業に要した経費は全額を自己資金で賄い、資金運用はすべて定期性預金のみで運用し健全経営を維持しました。

#### (3) 大学創立50周年に向けた取組み

##### あべのハルカスキャンパス開設準備

平成26年4月にグランドオープン予定の日本一の高層ビル「あべのハルカス」に学園の活動拠点として、「阪南大学あべのハルカスキャンパス」を設けます。

あべのハルカスキャンパスは、「学生支援の拠点(就職活動の拠点等)」、「学園広報の拠点」、「社会人教育の拠点」、「産官学連携の拠点」として、有効に活用します。

あべのハルカスキャンパスの概要は、次のとおりです。

入居フロア「あべのハルカス」23階、延べ床面積 約666㎡、 세미나 - 室、相談室、PC検索コ - ナ - 等を設置予定です。

##### 50周年記念館の建設準備

大学創立50周年の記念事業として、カフェラウンジ、スチュ - デントcommons、記念ホ - ル、記念館展示室、事務機能等の多様な機能を有する地上4階建て延べ床面積5,481㎡の50周年記念館を建設します。

1階は300席以上のカフェラウンジを設け、2階のスチュ - デントcommonsは、約850㎡の大空間とし、学習支援コ - ナ - やランゲ - ジスぺ - ス、自由学習スペースなど多様な学習形態に対応できるような空間とします。3階は事務所スペースとし、4階には500席の記念ホ - ルを設け、講義の他、講演会の開催等多目的な利用を行います。平成26年6月竣工を目指し工事に着手しました。

## 50周年記念事業特別予算の決定

平成24年度より「阪南大学50周年特別事業予算」を計上し、「実学教育」と「学生支援」の充実を図る18項目の取り組みを実施しました。また、こうした取り組みを積極的に学外に情報発信し、本学の社会的認知度の向上を図る広報活動を展開しました。

## 広報展開

「社会的認知度の向上」を図るために、積極的な大学広報を展開しました。広報内容の主なものは次のとおりです。

### 新聞広告

五大紙(朝日、読売、日経、産経、毎日新聞)及び地方紙(中国、山陽、四国、愛媛新聞)への突き出し広告を掲出いたしました。また、朝日新聞「関西の大学力」、読売新聞「旅1グランプリ」への企画参加及び日経新聞、読売新聞への「全15段広告」の大型広告も掲載いたしました。

### 交通広告

近鉄電車大阪阿部野橋駅フラッグ広告、南海電車なんば駅フラッグ広告、南海電車なんば駅大型グラフィックボード、大阪市営地下鉄窓額ポスター、JR天王寺駅ホーム広告、泉北高速鉄道ドア上ポスターを掲出いたしました。

## (4) 教育環境の整備

### <阪南大学>

#### 教育研究用システムの更新

平成24年4月より、これまでの教育研究用システムを基に以下のとおりインフラ環境およびHInTシステムを整備、強化した新教育研究用システムが稼働しました。

#### パソコン教室の増設

パソコン教室を5室増設し、学内には自由利用専用も含め計1,150台のパソコンを設置しました。

#### 一般教室の整備拡充

情報コンセントおよび無線アクセスポイントの増設し、学生の利便性を高めました。また、天吊りプロジェクタ、電動スクリーンの採用による授業準備時間の短縮を図りました。

#### HInTシステムの品質向上

ポータルシステム全体の安定性向上を図り、Webアプリケーションとしての使い勝手向上させました。また、教務システムおよび図書システム連携による学生サービスの一元化を図りました。

#### e-ポートフォリオ機能を採用

学生個人の目標と自己評価、レポートの確認やフィードバック、質問・相談事項への回答等の基本的な機能に加えて、資格取得等のキャリア支援にも対応できる機能や学生カルテ(教務システム)に学生の就職関連情報(希望職種等)を追加し、教育・学習支援の充実を図っています。

#### 教育研究用システムの防災対策準備

教育研究用システムの防災対策については、光ケーブル等を使用する外部ネットワークの構築及び学内システムの基本的なバックアップシステムの概要が固まりました。あわせて、図書館システムや教務システムのバックアップ対策についても検討をすることにより、災害時における本学教育研究用システムの危機管理体制を整備し、データ等の保全に努めます。

#### 教室の設備の整備

123教室(フロンティアホール)の120インチ大型プロジェクター2面を更新しました。

431教室(163.1㎡)照明器具を省エネタイプの蛍光灯に一新しました。

## < 阪南大学高等学校 >

### 高見の里グラウンド第2クラブハウス新築

高見の里グラウンド内のプレハブ建物の老朽化と高校サッカー - 部員の急増に伴い、プレハブ建物を解体・撤去して第2クラブハウスを新築しました。建物概要は、軽量鉄骨ブレース構造2階、延床面積603.21㎡で、クラブ部室、ウェイトトレーニング室、スタッフルーム、静養室等を設置しています。

### 教室増設

平成25年度入学生の収容に向けて教科準備室を普通教室に転用し、3教室増設し、教育環境の整備・充実を図りました。

### 教育用パソコン更新

高校は5年毎にパソコン等システムの更新を実施し、生徒へ最新のインフラ環境を提供しています。平成24年度は、教育用パソコンとして、生徒用パソコン92台、LL教室用パソコン46台（eラーニング「英検CAT」導入機器）、教員用ノートパソコン76台、パソコン教室等のAV機器一式の入れ替えを実施しました。

## (5) 省エネルギーへの取組み

東日本大震災をきっかけに政府や電力会社からの要請を受けて、本学でもこれまで以上に省エネルギーに取り組みました。クールビズとウォームビズを実施し、その結果、エネルギー使用量を前年度と比較すると電気使用量は約4.4%の削減となりました。

## 2. 大学の事業概要

### § 実学教育の充実および教育研究システムによる教育改善

(1) 企業や地域社会と連携して課題解決に取り組む課題解決型専門ゼミ(キャリアゼミ)への参加が、平成24年度は21ゼミ(平成23年度は14ゼミ)となりました。

また、キャリアゼミ以外の授業科目についてもフィールドスタディ(学外授業)を支援する制度を設けるなど、実学教育の充実を図りました。この学外授業を実施した結果、知識、能力、姿勢の資質が高まったとアンケートに回答した学生が、全体の74%を占めるなど、学生の能力開発に寄与しました。

平成24年度のキャリアゼミの活動テーマ(21ゼミ)

学部	ゼミ等活動テーマ	担当者名
経済学部	販売データを中心とする企業データの分析	青木博明
	起業による発展途上国支援とグローバルキャリア教育の可能性 -	石井雄二
	南大阪地域の未だ知られてない魅力をインターネット・ラジオから全国に発信する学生主体の番組づくり	伊澤正興
流通学部	都心型ファッションビルにおける閑散期対策の提案と実践的アプローチ	大村・平山 合同
	ソフト開発企業と連携したサッカーゲームの質的把握のための分析ソフト活用について	須佐徹太郎
経営情報学部	マーケティングと販売実践	川端庸子
	中小企業IT支援P1	北川悦司
	タイ日系企業が直面する経営課題の解明と解決策の提案を通じた国際社会で活躍可能な人材の育成	関 智宏
	商店や個人事業など小規模組織向けネットワーク設定サービスの提供	花川典子
	個別企業に対する経営コンサルティング	山内孝幸
国際観光学部	観光地マーケティングにおける事業主体の役割に関する研究	大谷新太郎
	質の高い観光資源および観光空間の維持や管理運営、創造に関する課題について計画論の視点から考え、持続可能な観光都市・地域の形成について探求する	榎戸敬介
	学生(訪問者)視点を交えた双方向での着地型旅行商品企画による地域活性化	小林弘二
	旅行業の現状と課題を探るプロジェクト	清水苗穂子
	新今宮観光インフォメーションセンターの運営とそこを拠点とした町づくり	松村嘉久
	観光事業のマーケティングと経営課題の研究(日韓における事例研究から)	森山 正
	地域の人びとと観光客の交流を生み出す持続可能な観光の提案	森重昌之
	エコミュージアムによる元気な地域づくり	吉兼秀夫
国際コミュニケーション学部	心齋橋における中国人観光客の購買行為の特徴に関する調査と分析	陳 力
	異文化交流と比較文化論的調査により多文化共生を目指す!	曹 美庚
	廃墟の島、豊島の笑顔とつばやきプロジェクト2	曾根英二

(2) 平成24年度から新たに教育研究システム「e-ポートフォリオ」を導入し、基本的な機能(目標と自己評価、レポートの確認やフィードバック、質問・相談事項への回答等)を利用するなど、教育・学習支援の充実を図っています。

(3) 携帯情報端末等を活用した双方向教育システム(ポータブルH I n T)を利用し、大人数講義における学生と教員の双方向のコミュニケーションを実施するとともに、学生の理解度に応じた授業改善に努めました。平成24年度については、全学部において11科目14クラスの授業で延べ1,644人の学生が利用しました。

(4) 大学教育センターではFD・SD活動を推進するため、平成24年度も全学部で、前期・後期の年2回、学生による授業評価アンケートを実施し、授業評価の充実を図りました。

また、平成24年度から、学生の実態とデータとを重ね合わせて、学生像(集団特性)を確認・共有するために、新入生1,197名の受検者に対し、「大学生基礎力調査(自己発見レポート)」を実施するとともに、各学部に入学生の実態調査の報告会を行うなど、この調査結果を有効活用しました。

さらに、「阪南大学の教育を考える」ことをテーマにしたFDシンポジウムをはじめ、FD講演会「中長期戦略と大学改革 - 中京大学の事例 - 」などを実施しました。

- (5) 平成 24 年度は、国内・海外で 176 名の学生がインターンシップの実習を行いました。  
国内インターンシップは、情報系企業で実習を行うクラス、観光業界で実習を行うクラス、その他の一般企業で実習を行うクラスなどで、それぞれ実施しました。  
また、海外インターンシップでは、学生の語学力向上と希望する業種・業界で実習を行う「オーストラリア」や、政府観光庁の韓国観光公社等で実習を行う「韓国」で、それぞれ体験するなど、社会人基礎力の向上に努めました。
- (6) 平成 24 年度も簿記、情報処理実習科目、PC 実習科目以外の新入生導入科目をはじめ、国際観光学部 of 大学入門ゼミや流通学部のプレゼミにおいても SA (ステューデントアシスタント) を配置し、新入生が高校から大学教育へ円滑に移行できるよう授業支援を行いました。SA (ステューデントアシスタント) の延べ人数は 42 名となりました。

## § 学生支援体制の強化

- (1) 新入生オリエンテーション事業は、本学の歴史と教育方針を理解することによって、帰属意識、愛校心を涵養する契機となり、意欲ある学生を育てるのに寄与しました。  
平成 24 年度は全学部において、オリエンテーション事業を実施しました。経済学部 (296 名参加) 国際コミュニケーション学部 (135 名参加) 国際観光学部 (179 名参加) 流通学部 (249 名参加) 経営情報学部 (224 名参加) の新入生をはじめ、先輩となる SA (ステューデントアシスタント) の学生および教職員が参加し、帰属意識、愛校心を涵養するとともに、学生間の交流を図りました。
- (2) 学習支援室の利用者が急増している状況に対応するため、支援室を利用しやすい場所に移設し、スペースも約 2 倍に広げました。また、学習アドバイザーも 1 名増員し、国語、英語、数学担当の 3 名体制とするとともに SA (ステューデントアシスタント) を配置するなど学生の学習支援を強化しました。その結果、学習相談だけでなく、学生同士のコミュニケーションの場としての利用も広がり、平成 24 年度の実相談者数は 361 人で、前年度の約 4 割増となりました。
- (3) 経済的支援の充実を図るため、奨学金制度等を改正しました。

### 入試成績優秀者 (特待生) 奨学金 (4 年間給付型)

対象入試	取得基準	内容	給付額 (年額)
一般入試 (前期 B 日程) 【3 教科型】	得点率 80% (240 点以上 / 300 点満点) かつ上位 10 名	授業料 100%	800,000 円
センター試験利用入試 (前期 3 教科型)	得点率 80% (600 点以上 / 750 点満点) かつ上位 10 名		
一般入試 (前期 A 日程) 【2 教科型】	得点率 80% (160 点以上 / 200 点満点) かつ上位 10 名	授業料 50%	400,000 円
センター試験利用入試 (前期 2 教科型)	得点率 80% (400 点以上 / 500 点満点) かつ上位 10 名		

### 入試成績優秀者奨学金 (入学年度のみ)

対象入試	取得基準	内容	給付額 (年額)
一般入試 (前期 B 日程) 【3 教科型】	得点率 80% (240 点以上 / 300 点満点)	授業料 50%	400,000 円
センター試験利用入試 (前期 3 教科型)	得点率 80% (600 点以上 / 750 点満点)		
一般入試 (前期 A 日程) 【2 教科型】	得点率 80% (160 点以上 / 200 点満点)	授業料 25%	200,000 円
センター試験利用入試 (前期 2 教科型)	得点率 80% (400 点以上 / 500 点満点)		
公募制推薦入試	得点率 80% (200 点以上 / 250 点満点)		

### 指定資格取得者奨学金

専願制入試の合格者で、下記の資格を取得した者に対し 100,000 円を給付  
 日本漢字能力検定 2 級以上 日商簿記検定 2 級以上 全商簿記実務検定 1 級完全合格  
 実用英語技能検定 (STEP) 2 級以上 TOEIC (R) スコア 550 点以上  
 情報処理技術試験 (IT パスポート【レベル 1】以上) 総合旅行業務取扱管理者  
 国内旅行業務取扱管理者

#### 阪南大学貸与奨学金

種別	奨学金の特長・対象者	対象学年	採用枠	金額(年額)
貸与(無利子)	成績が優秀にもかかわらず、学業を続けていくことが経済的に困難な学生を対象	1年生 ~4年生	各学年12名	800,000円

#### 阪南大学給付奨学金 / 学部奨学金

種別	奨学金の特長・対象者	対象学年	採用枠	金額(年額)
給付	各学部の特色を活かした審査基準により奨学生を決定	2年生 ~4年生	各学年15名	400,000円

#### 阪南大学給付奨学金 / クラブ奨学金

種別	奨学金の特長・対象者	対象学年	採用枠	金額(年額)
給付	過去の文化体育活動において特に優秀であり、今後も活躍が期待される学生で、本学のクラブに所属し、成績、人物ともに優れている学生を対象	1年生 ~4年生	各学年13名	400,000円

#### (4) 主なクラブ活動成果

##### <ウェイトトレーニング部>

第39回全日本学生パワーリフティング大会 団体の部 準優勝  
男子団体 準優勝 女子団体 優勝

##### <空手道部>

全日本学生空手道選手権 団体出場  
糸洲流 全国空手道選手権大会 団体組手の部 優勝

##### <硬式野球部>

近畿学生球野球春季リーグ戦 部リーグ2位  
" 秋期リーグ戦 部リーグ2位

##### <サッカー部>

第90回関西学生サッカーリーグ 前期1位 後期1位 通年1位  
第36回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 11年ぶり2回目の優勝  
第61回全日本大学サッカー選手権大会 3位

##### <スピードスケート部>

全日本距離別ショートトラックスピードスケート選手権大会 総合8位 渡辺啓太  
総合34位 竹田秀彬  
ワールドカップ第1戦、第2戦、第3戦、第4戦出場 渡辺啓太

##### <トランポリン部>

ワールドカップ中国大会 シンクロ3位 大谷茉由  
ワールドカップスイス大会 シンクロ4位 大谷茉由  
第47回全日本学生トランポリン競技選手権大会 個人男子Aクラス 準優勝 石井 純  
個人女子Aクラス 準優勝 大谷茉由  
団体女子 優勝  
大学対抗戦 優勝

(5) 毎月1回、体育会、文化会連合にて所属クラブの主将会議を定期的に行い、各クラブへの注意遵守事項を確実に伝達するとともに、マナー問題等の情報共有を図りました。平成25年2月22日に13団体の体育会、文化会クラブにより学生生活報告会を開催し、各クラブの平成24年度の活動実績および次年度の活動目標、計画を報告しました。

(6) 平成24年12月21日に大阪府警からの派遣講師による「薬物乱用防止に関する講習会」を開催し、30名の学生が参加しました。

## § キャリア支援体制

### (1) 平成24年度卒業生就職状況

学部	流通学部	経済学部	経営情報学部	国際コミュニケーション学部	国際観光学部	合計
就職者数	175名	220名	191名	90名	124名	800名
就職希望者	188名	244名	207名	96名	130名	865名
就職決定率	93.1%	90.2%	92.3%	93.8%	95.4%	92.5%

### 平成24年度卒業生の主な就職先

業種分類	企業名	
メーカー	アルインコ	富士ゼロックス
	イムラ封筒	プリマハム
	牛乳石鹸共進社	日亜化学工業
	タマノイ酢	ローム
金融	池田泉州銀行	大阪東信用金庫
	京都銀行	野村證券
	紀陽銀行	岡三証券
	大正銀行	いちよし証券
	百十四銀行	日本生命
	香川銀行	住友生命
	もみじ銀行	明治安田生命
	福邦銀行	三井生命
建設・不動産	清水建設	エスバイエル
	大和ハウス工業	日本エスリード
	レオパレス21	大東建託
商社	東京エレクトロン	オンワード樫山
	スズケン	ジャヴァグループ
	アルフレッサ	ミキハウス
	日本アルコン	フルサト工業
航空	全日本空輸	JAL エクスプレス
	日本航空	ジェイエアー
	JAL スカイ	チャイナエアライン
流通・サービス	イズミヤ	ユナイテッドアローズ
	ファミリーマート	JTB東京法人
	ライフコーポレーション	JTB西日本
	パル	エイチアイエス
	ポイント	富士通マーケティング
公務員	警視庁	和歌山県警察本部
	大阪府警察本部	広島県備北地区消防組合
	大阪市消防局	防衛省陸上自衛隊

(2) 年間企業訪問は1,000社を目標とし、3月時点で1,116件となりました。企業訪問で知り得た貴重な採用情報を学生に紹介する「大学求人説明会」を11回実施し、572名が参加しました。

また、個々人に企業紹介を行う「学内マッチング会」を26回実施、355名が参加しました。

(3) 就職筆記試験に合格するための学力を適性に把握するためにベネッセコーポレーションのアセスメント「キャリアアプローチ」を実施し、992名が受験しました。この試験結果を基に学力レベルを3ランクに

分け、学力レベルに沿ったSPI試験対策の授業を実施しました。

- (4) 学部別に就職相談担当を配置し、個別就職相談、企業紹介を強化しました。3月時点で6,662件の個別相談を実施しました。個別相談は在籍者1,035名の内、755名(73%)が受けました。
- (5) 本学への求人件数は6,024件ありました。本学の求人企業やキャリアセンターが紹介した企業に内定した学生は、全体の51.1%と過半数を超えました。
- (6) 学内資格講座受講者数は全体で814名(前年609名)前年比34%の伸び率でした。2012年度からビジネス能力検定講座とファッションビジネス能力検定講座を増設し、ビジネス能力検定3級では、88.9%と高い合格率を出しました。また、ファッションビジネス能力検定3級においても、91.7%と全国平均(73.8%)よりも高い合格率でした。人材養成講座は金融、旅行観光、アパレル、警察官など各業界に人材を輩出する講座を開講しました。
- (7) 就職システム(ジェイネット)と教務システムの連携したシステム構築を行い、企業のニーズに沿った学生を迅速にマッチングする就職斡旋の強化を行いました。本学のポータルサイトHint上のキャリアカルテ画面から、就職システム(希望業界・職種・勤務地等)と教務システム(住所・成績等)とを組み合わせさせた学生検索が可能となり、多様な求人に対処できるようになりました。

## § 国際交流の推進

### (1) 学生の海外派遣に関する事業

本学学生の留学を奨励し、派遣が決まった学生には留学対策講座や各種ガイダンス、セミナー等きめ細やかなサポートを行いました。短期留学では、学生海外語学研修助成制度をリニューアルし、英語圏のほか多彩な言語の派遣を実現しました。

協定・交換・認定留学制度派遣実績

・協定留学 36名 交換留学 8名

(アメリカ18 イギリス4、オーストラリア1、カナダ13、中国4、台湾2、韓国2)

(平成23年度派遣実績 協定留学 26名 交換留学 14名)

・学生海外語学研修助成制度特別助成金支給対象者派遣実績

4名(マルタ共和国1、オーストラリア1、ドイツ1、フランス1)

・学生海外語学研修助成制度一般助成金支給対象者派遣実績

15名(カナダ2、イギリス2、韓国3、ドイツ2、フランス1、ニュージーランド1、マルタ1、フィリピン1、中国1、台湾1)

・認定留学 14名(韓国7、カナダ5、アメリカ1、オーストラリア1)

派遣前プログラムの実施

・協定・交換留学派遣予定学生プレゼンテーション指導、スピーチ大会、壮行会

7月23日~8月6日 (8月6日スピーチ大会、壮行会)

1月21日~2月8日 (2月8日スピーチ大会、壮行会)

・Academic English 講座(Reading, Writing 講座)

2月18日~3月1日

### (2) 外国大学との交流事業

語学研修にとどまらず、ディズニー国際カレッジプログラムなど就業体験(インターンシップ)プログラムができる大学と新規で協定締結を行いました。

新規協定締結

・ビクトリア大学(カナダ): 協定留学学生派遣

・ゲルフ大学(カナダ): 協定留学学生派遣

・ロリンズカレッジ(アメリカ): ディズニー国際カレッジプログラム

・ロヨラ大学シカゴ校(アメリカ): 協定留学学生派遣

・イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校(アメリカ): 協定留学学生派遣

外国大学表敬訪問(本学来訪)

・4月10日 対外経済貿易大学(中国) 副学長以下6名

- ・4月16日 福州大学陽光学院(中国) 院長以下8名
- ・6月14日 広東外語外貿大学(中国) 学長以下5名
- ・6月28日 リーズ大学(イギリス) マーケティングディレクター
- ・11月6日 ゲルフ大学(カナダ) プログラムマネージャー
- ・11月27日 ウィニペグ大学(カナダ) ディレクター以下2名
- ・12月19日 ヨークセントジョン大学(イギリス) 日本語担当教員
- ・2月27日 ロリンズカレッジ(アメリカ) ディレクター
- ・3月28日 オカナガン大学(カナダ) 日本担当スタッフ

### (3) 外国人留学生受入に関する事業

英語圏からの交換留学生を、継続および新規合わせて4名受入れるなど交換留学生の実績数が増加しました。英語圏の交換留学生には日本人学生チューターを配して、語学や生活面のサポートを行い、日本人学生にとっても交流、英語実践の機会となりました。

私費外国人留学生受入状況(平成24年5月1日現在)

- ・私費外国人留学生総数 174名(学部151名 大学院23名)
- ・学部別在籍状況 流通8、経済25、経営情報23、国際コミュニケーション40、国際観光55
- ・国・地域別在籍状況

学部：中国127、韓国13、ベトナム5、台湾3、タイ2、ロシア1

大学院：中国20、ベトナム1、タイ1、ミャンマー1

協定による交換留学生受入実績

- |                   |      |            |
|-------------------|------|------------|
| ・ヨークセントジョン大学(伴 以) | 継続1名 | 新規3名       |
| ・対外経済貿易大学(中国)     | 継続2名 |            |
| ・内蒙古大学(中国)        | 継続2名 | 新規2名       |
| ・広東外語外貿大学(中国)     | 継続2名 | 新規2名       |
| ・高雄餐旅大学(台湾)       | 継続2名 | 新規2名       |
| ・慶熙大学(韓国)         | 新規2名 |            |
| ・大邱大学(韓国)         | 新規1名 |            |
|                   | 総計   | 継続9名 新規12名 |

地域交流(留学生派遣)実績

- ・7月25日 なにわ文化サポータークラブ国際交流船(天神祭) 交換2名
- ・8月4日 松原市民まつり(模擬店) 私費1名
- ・8月11日 松茂町(徳島県)国際交流協会ホームステイ 交換1、私費1
- ・8月23日 Japan Tent(石川県ホームステイ) 私費1
- ・11月4日 松原ワールドフェスタ(模擬店) 交換6
- ・11月13日 天美北小学校国際理解学習 交換2、私費2
- ・11月29日 天美南小学校英語学習交流 交換2、私費4
- ・12月8日 河合小学校ふれ愛土曜日 交換6
- ・1月24日 天美北小学校国際理解学習 交換1、私費2
- ・1月30日 松原西小学校国際理解学習 交換1 私費3
- ・2月28日 千早小吹台小学校英語教育交流 交換8、私費2
- ・3月1日 松原南小学校国際理解学習 私費3
- ・3月8日 アジア協会Fランチ(講演) 交換1

### (4) 英会話ラウンジ(イングリッシュスペース)に関する事業

両キャンパスで開室し、フリーで英会話が可能なお場として学生に幅広く利用を呼びかける一方、予約制によるプライベートレッスンを実施し、レベル別、目的別に英語を学ぶ機会を提供しました。また、利用者数の少ない時間帯に特別プログラムを実施したほか、留学派遣予定者の留学前プログラムを実施しました。

2012年度フリー利用総利用者数(のべ数) 6,404人

(授業期間で特別プログラム、プライベートレッスンは除く)

1日平均45.7人(140日)  
本4,751人、南1,653人  
経342 流922 情143 国2477 観2251 その他269  
1年次3454、2年次1317、3年次795、4年次684 その他154  
2011年度3,777 2010年度2,626

2012年度プライベートレッスン総利用者数(のべ数) 491人

1日平均2.36人(140日)  
経32 流38 情37 国173 観209 その他2  
1年次101 2年次173 3年次157 4年次55 その他5  
2011年度419 2010年度432

#### (5) 中国語会話ラウンジ(チャイニーズスペース)、コリア語会話ラウンジ(コリアンスペース)の開設

イングリッシュスペース同様に中国語、コリア語の会話をフリーでいつでも好きなだけ勉強できるチャイニーズスペース、コリアンスペースを両キャンパスで新規に開設しました。講師はプロのネイティブのほか、交換留学生を起用したほか、コリアンスペースでは韓国人俳優による特別イベントも実施しました。

(開設期間6/5~7/19、11/21~12/7)

チャイニーズスペース総利用者数(のべ数) 202人

本163人、南39人  
経4 流1 情22 国94 観54 その他15  
1年次83、2年次31、3年次50、4年次12 その他26

コリアンスペース総利用者数(のべ数) 329人

本243人、南86人  
経12 流5 情10 国184 観103 その他15  
1年次142、2年次100、3年次51、4年次23 その他13

#### (6) 課外講座の実施

海外に派遣される学生等へのサポートとして英語圏留学対策・TOEIC対策講座を実施しました。

講座名	クラス	TOEIC 目標得点	受講者数
前期英語圏留学対策講座	A	400点	21
	B	500点	16
	C	600点	22
夏期集中英語圏留学対策講座	A	400点	22
	B	600点	11
後期英語圏留学対策講座	A	400点	11
	B	700点	16
春期集中英語圏留学対策講座		500点	22

#### § 入学者の確保

- (1) 平成24年度はオープンキャンパスを6月から9月に4回6日間開催し、合計5,279名の来場者がありました。
- (2) 高等学校への訪問を増やし、高等学校と本学の信頼関係を深めるとともに、本学からの情報提供を強化しました。
- (3) 南海なんば駅の大型グラフィックボードや大阪阿倍野橋駅構内、近鉄沿線車内、大阪市営地下鉄車内、新聞および受験雑誌への広告掲出等「実学教育を重視し、就職に強い大学」のイメージを深めるための広報を強化しました。
- (4) 「総合的な学習出前講義」(平成24年度より実施)の実施等、阪南大学高等学校との連携に取り組みました。

- (5) 阪南大学高等学校および協定校の平成25年度入学予定者を対象とした入学前教育を充実しました。
- (6) 志願動向を見据えた入試制度改革に取り組み、平成26年度入学者を対象とする一般入試での募集人員の拡大や3教科型入試の新設などを決定しました。また、入試成績による給付型奨学金制度の充実を図るとともに特待生制度を新たに設けました。(上記2(3)参照)さらに、昨今の厳しい経済状況の中、保護者の方の経済的負担を少しでも軽減できるように平成26年度入試の入学検定料改定を決定しました。
- (7) 平成25年度入試結果(平成25年3月31日現在)

学部	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率	入学予定者数
流通学部	210	1,037	1,022	506	2.0	280
経済学部	300	1,103	1,089	744	1.5	353
経営情報学部	210	951	937	559	1.7	256
国際コミュニケーション学部	145	917	896	388	2.3	191
国際観光学部	150	906	887	422	2.1	182
合計	1,015	4,914	4,831	2,619	1.8	1,262

大学間の受験者獲得競争が激化する中、志願者数は前年度比105.5%と伸びました。また、入学予定者に占める女子学生比率は、35.2%(入学予定者444名)で過去最高となりました。

## § 研究活動の活性化と地域連携事業の強化

- (1) 平成24年度の科学研究費補助金は、16件、総額23,920,000円となりました。(平成23年度は16件、総額22,412,000円)  
また、受託研究として、経済学部・大野智彦准教授が特定非営利活動法人 大阪府民環境会議から369,852円、経営情報学部・安井恒則教授らが兵庫県商工会連合会より2,772,000円を受給しました。
- (2) 助成研究9件(6,500,000円)の採択、平成24年度阪南大学叢書5点の刊行、外国研究者4名の招聘などを通じて学内研究助成制度の活性化が図られました。
- (3) タイ・チュラロンコン大学 SASIN 経営大学院ジャパンセンター(平成22年度学術交流協定締結)との間で共同研究を実施しました。
- (4) 公開講演会(「ワインと料理で世界はまわる - フランスの饗宴外交と国際政治 - 」)、大学創立50周年記念学術シンポジウム(「百舌鳥・古市古墳群の調査と研究」)や中学生・高校生を対象としたセミナー等(大阪中学生サマー・セミナー、ひらめき ときめきサイエンス、ジュニアオープンカレッジ等)を実施し、地域における生涯学習を推進しています。
- (5) 平成24年度新たに千早赤阪村、藤井寺市、羽曳野市および大阪科学技術センターと協定を締結し、地域社会との連携を推進しています。この連携協定により、地元で開催するイベントや子供教室などに学生が積極的に協力し、地域との交流が一層深まっています。  
また、松原ブランド研究会が、松原市主催の「まつばらマルシェ」に出店するなど、地域活性化の活動に参加しました。

## § 一般社団法人日本私立大学連盟への加入

一般社団法人日本私立大学連盟に加盟し、同連盟との情報交換や同連盟が開催する研修会等に参加しています。

## § 自己評価、認証評価への取組

公益財団法人大学基準協会による認証評価の申請を平成 24 年 4 月に行い、同協会の定める大学基準に適合しているとの認定を受けました。(認定期間：平成 25 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日)

<認定マーク>



## § 情報の公表への取組

学校教育法施行規則等に従い、教育情報を公表、更新しています。

## § 大学後援会・同窓会との連携による父母との連絡強化

- (1) 教育懇談会(6/23 本学・7/7 広島・7/14 高松)を開催し、保護者への情報提供や個別相談を実施しました。
- (2) 後援会と大学との合同研修会(8/18)を実施しました。

## § 大学創立 50 周年記念事業の推進

- (1) 社会との教育・連携、学生支援、教育情報の発信等を目的とする「阪南大学あべのハルカスキャンパス」(平成 26 年春完成予定)開設の準備を進めています。
- (2) 大学創立 50 周年事業の基本コンセプトを「過去から学び、ミッションステートメントを実現し、継承と革新の積み重ねによって新たな伝統を創出する。」とし、創立 50 周年記念ロゴを定めました。

<大学創立 50 周年記念ロゴ>



- (3) 大学創立 50 周年を宣言する新聞広告、学園広報紙『リパティウィング』特集号など大学創立 50 周年に関連する情報発信を行っています。
- (4) 50 周年を記念して、大学公式マスコットキャラクターを作成します。原画募集に先立ち、本学イメージ調査アンケートを年度末に実施しました。

### 3. 高等学校及び中等部の事業概要

#### (1) 教育改革

##### 学習支援

自学自習の充実を図るため、スタディールームとメディアセンターを夜間(19:00 まで)開放し、放課後学習ができる環境を整備しました。また、大学の授業に対応していく学力を高校時代に身に着けるために、上位大学の指定校推薦内定者を対象に、入学前教育を実施しました。

##### 資格取得支援

平成24年度より、英語検定の対策として、eラーニング「英検CAT」を導入しました。英語検定の1週間前には自宅にパソコンがない生徒たちでも英検の学習ができるようにLL 教室を開放し、英語検定の資格取得を支援しました。

##### 課外活動

平成 24 年度より修学旅行の行先が、沖縄からグアムに変更になりました。高等学校における長い歴史の中で、海外への修学旅行は初めてのことでした。国際化の進展に対応する人材を育成するために、国際感覚を身に付けること、外国での見聞を通して国際理解を深めることを目的としています。

##### キャリア教育

平成 24 年度より総合進学コースの3年生における総合的な学習において、阪南大学の教授を招き、週2時間の講義を行いました。2年間行ってきた進路学習を踏まえ、大学でどのような学びを行うのかを具体的にイメージさせ、生徒たちの進学目的をより明確にします。また、社会における諸現象に対してどのようにものを考えるべきかについて学ぶことを目的としています。

#### (2) 生徒支援

平成 24 年度より、高校2年生及び3年生の授業料無償化世帯における学費の納付方法を変更しました。授業料無償化世帯は授業料を徴収せずに、補助金と相殺処理を行い、保護者の一時的な授業料負担を軽減し、生徒が安心して学校生活を送れるように支援を行いました。

#### (3) 入試結果と進学実績

##### 入試結果

平成 25 年度入試の結果は、次のとおりです。

普通科	募集人員	専願併願	志願者数	受験者数	合格者数			入学者数
					文理類	文理類	総合進学	
文理特進コース 類	40	専願	40	40	30	[4]	(4)	68
		併願	330	330	296	[17]	(13)	
文理特進コース 類	80	専願	50	50		43	(5)	80
		併願	307	306		286	(19)	
総合進学コース	320	専願	304	304			288	373
		併願	760	758			752	

・合格者数欄の[ ]内の数字は、文理特進コース 類への転コース合格者数

・合格者数欄の( )内の数字は、総合進学コースへの転コース合格者数

・入学者数は、内部進学者を含む

## 進学実績

平成 25 年度入試の主な大学合格者は、次のとおりです。(卒業生を含む。)

校名	合格者数	実合格者数	校名	合格者数	実合格者数
阪南大学	87	86	関西大学	18	15
大阪教育大学	1	1	関西学院大学	6	6
			同志社大学	3	3
			立命館大学	3	3
			京都産業大学	12	8
			近畿大学	35	22
			龍谷大学	7	6

## (5) 主なクラブ活動の成績

硬式野球部 秋季近畿地区高校野球大会大阪府予選ベスト8

大阪府高等学校選抜チーム選出(川上 真)

サッカー部 全国高校サッカー選手権大阪府予選ベスト8

U-18リーグ1部優勝(プリンスリーグ関西2部へ昇格)

男子バスケ部 第67回大阪高等学校総合体育大会バスケ部大会ベスト8

第60回大阪高等学校バスケ部新人大会 6位

第67回国民体育大会大阪府代表選出(西岡 信次)

女子バスケ部 第60回大阪高等学校バスケ部新人大会 ベスト8

軟式野球部 秋季近畿地区高校野球大会大阪府予選準優勝(近畿大会出場)

トランポリン部 ワールドカップ中国大会 3位(山口 晴緒)